

会 議 録		令和 6 年12月19日作成	令和10年 3 月末日廃棄
会議名	京都府福知山警察署協議会（令和 6 年度第 3 回）		
開催日	令和 6 年12月12日（木曜日）		
時 間	午後 3 時55分から午後 5 時までの間（65分）		
場 所	京都府福知山警察署 講堂		
出席者	足立（幸）会長、中司副会長、北村副会長、廉屋委員、足立（久）委員、 片山委員、堀委員、佐々木委員、佐竹委員、福中委員 （欠席 福井委員） 計10人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長 警備課長、広聴相談係長 計 9 人		
諮 問 事 項	匿名・流動型犯罪グループについて		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 諮問事項説明 匿名・流動型犯罪グループについて～刑事課長・生活安全課長 【委員】「トクリュウ」という言葉は、テレビ等でよく聴いている。 個人的にホームセキュリティを導入しているが、効果はあるのか。 【警察】今までであれば、家に人の気配があれば、犯人が犯行を止めることはあつた。 匿名・流動型犯罪グループの犯行では、実行犯が雇われ、指示を受けているため、自ら犯行を止めることが少ない。 【委員】犯人から「金を出せ」などと言われた場合、少しでも現金を渡せば、命までは取られないのではと考えるが、その点はどうか。 【警察】その家にどれくらいの現金があるかなど、どの程度の情報が漏れているか分からない。 犯人が、その家にある金額を把握していた場合、残りの金額も要求してくるおそれがある。 【委員】匿名・流動型犯罪グループの中でもいろいろな役割があると説明をしていたが、リフォーム業者を装うという手口があることは知らなかった。		

【警察】当然、正規のリフォーム業者が営業をしている場合もある。

これまでの捜査の中で、リフォーム業者を装って、その家の内情を探りに来たり、リフォーム名目で詐欺まがいに現金を取っている例がある。

あくまで一例であり、犯人が装うのはリフォーム業者だけではない。

【委員】先ほどの説明の途中で、犯人を装った警察官2人が入って来られたが、自分の記憶と、後で確認させてもらった犯人役の服装とでは、こんなにも自分の記憶と違うものかと実感することができた。

【委員】2点をお聞きしたい。

1点目は、闇バイトに申し込んでしまった場合の相談窓口があると聞いたことがあるが、福知山市でそのような相談窓口はあるのか。

2点目は、京都の男性が闇バイトに応募して警察に相談したが、警察の対応を断ったというニュースがあったと記憶している。明らかに闇バイトに応募している人が、警察の対応を断った場合、警察が介入することは難しいのか。

【警察】2点目の質問については、闇バイトに応募した人物の保護については、全国警察で取り組む施策となっている。

闇バイトに応募した人物は、自分が保護されたとしても、家族やきょうだい等にまで危害が及ぶことを恐れているため、警察に対応を求めることにちゅうちょしてしまうことも考えられる。

警察では、対象者や家族を保護した上で、空き家になった自宅等の警戒等を実施して、対象者の家に乗り込んでくるような場合には、その状況に応じた対応を行うようにしている。

【警察】1点目の質問については、相談窓口があるかという質問で良いか。

【委員】福知山警察署に、相談があったかどうかを教えてください。

【警察】現時点、当署では闇バイトに申し込んだという相談は受けていない。

相談があれば警察で対応をさせてもらうので、些細なことでも相談をしてもらいたい。

【委員】今、見せてもらった犯人を装った警察官の演出力に驚いている。

自分には起こらないだろうと考えていたが、怖いと感じた。

テレビ等を見ていると、関東中心で事件が起きているように思うが、関西でもこのような事件は起こっているのか。

また、警察ではこれらの特殊詐欺等に対する防犯対策等はすでに確立をされているのか、それとも時間を要するのかお聞きしたい。

【警察】匿名・流動型犯罪グループによる事件は、先ほど説明をさせてもらったとおり事件ごとに犯人が変わるため、全ての犯人を特定することは難しい。

組織を解体するためには時間を要する。

また、関西でも特殊詐欺は増えてきている。

【委員】普通に生活をしている人が事件に巻き込まれてしまうことがあるのは怖いと感じた。

【委員】先ほどの説明でSNSについての話があったが、SNSでいろいろな情報

会 議
内 容

が入手できるようになっている反面、偽の情報もあふれていると感じている。

犯人が業者を装って電話や訪問をしてきて、家族構成や家の間取りを調べているという情報を見聞きするが、そのような情報をもとに、正規の業者にまで邪険な対応をしてしまうのではないかと考えている。

実際に犯人が下見をしているようなことはあるのか教えてもらいたい。

【警察】 正規の業者が営業に来ている可能性はある。

犯人が下見をしている場合もあるが、警察でも詳細を把握をすることは難しく、どの業者であれば安全であるという回答をすることはできない。

少なからず業者を装っている手口はある。

【警察】 訪問してきた業者が下見ではないかというような相談が増えている。

正規の業者である可能性があるため、相手にするなど回答することはできない。

業者が訪問してきた場合には、その人が必要としていないのであれば、インターホン越しに対応するなどの助言をしている。

【委員】 野生の動物対策としてセンサーライトを設置していたが、今後は防犯対策として考えなくてはいけないと感じた。

【委員】 タイムリーな話題で勉強になった。

先ほどの話では都会で起きているようだが、地方にも必ず波及してくると考えて良いか。

【警察】 犯人に狙われやすいと考えている。

【委員】 地方には大きな家が多く、隣家との距離もあり、鍵をしていない家などがあるので、そういったところは犯人も狙いやすいと思う。

次に、闇バイトに申し込んだ人が、自分の意思を持って断って、本人や家族に被害があったという事例はあるか。

大学生等が簡単に身分証等を送ってしまうことが素朴な疑問である。

【警察】 「トクリュウ」が話題に取り上げられるより以前のことだが、「闇バイトに申込みをして、身分証の写真を送ってしまった。」との相談を受けたことがある。

そのときには、犯人からの要求を飲まないように助言した。

後になって、相談者が自分の写真を送っていたことが分かり、相談者が送った身分証に載っている住所の近所にその写真がばらまかれるということがあった。

【委員】 闇バイトに申し込んだ人が何らかの形で関わり、警察に捕まった場合には犯罪歴がつくのか。

【警察】 その行為が犯罪に該当していればそうなる。

【委員】 闇バイトに申込みをしてしまった場合、警察に相談に行くべきと思っても、警察に相談に行くことが敷居が高く感じられて、気軽に相談をすることが難しい。

警察以外に気軽に相談をできるところはあるか。

それとも警察に相談をするべきなのか。

会 議
内 容

【警察】警察へ直接相談に行くことが敷居が高いと思われるのであれば、電話でも良いので警察に相談をしてもらいたい。

電話で相談をしてもらって、改めて日程等を調整し、直接、面接をさせてもらうこともできる。

緊急性のある内容であれば、警察官が直接自宅を訪問をさせてもらう場合がある。

一人で悩むのではなく、電話や最寄りの交番でも良いので、警察に相談をしてもらいたい。

【委員】SNSによる家出女性の募集に対して、警察がSNSのアカウントを作成して投稿をしたことで、一時的に被害を防いだということを聞いたことがある。

闇バイトに関して、同じような方法が効果的と考えられているか。

また、学生が使っているバイトアプリや求人サイトでも闇バイトの募集があると聞いたが、警察が介入することは難しいのか。

【警察】SNSでの闇バイトの募集に対しては、当府警察本部がアカウントを持っており、警告をしている。

当府警察でもサイバーパトロールを行っているが、バイトアプリや求人サイトで募集されている内容については判断が難しい。

【警察】周囲で闇バイトに関して噂などがあれば教えてもらいたい。

【委員】あまり闇バイトに関する噂は聞いたことがない。

大学からアルバイトをあっせんするサイトがあるので、在籍している学生にはそのサイトを利用するよう周知されている。

【委員】国際電話で詐欺の電話がかかってくると聞いたが、どのような対応をするべきか。

【警察】国際電話による詐欺の電話に対する防犯対策については、着信拒否設定をするようにしてもらいたい。

4 事務連絡

令和6年度第4回京都府福知山警察署協議会については、協議事項も含めて事務局と調整の上、決定する。

以上

第3回京都府福知山警察署協議会の開催状況

